

取組のポイント

- ①法人化した中核農家が、積極的に農地中間管理機構を活用して農地集積を推進。
- ②規模拡大に伴い、経営の安定を図るため、農業用水を活用しアスパラガスを新規導入。
- ③長野県の水稲育成品種である「風さやか」の研究グループを立ち上げブランド化にも取り組む。



取組内容

①農地の集積、経営規模拡大

米の直売を契機に法人化し、地域で管理の難しくなった農地を農地中間管理機構を介して、積極的に引き受けることで経営面積を20.8haから63.4haまで拡大。

昭和60年から実施された当地区のほ場整備が耕区均平であったことから、集積したほ場の畦畔を除去して合筆することで効率的に大型機械の導入と低コスト化を実現。

②栽培技術の確立・向上

水稲は主食用米、飼料用米のほかもち米、酒米を栽培し、直播栽培を導入しているほか、小麦、大豆、そばも栽培している。経営の安定を図るため、国営かんがい排水事業の農業用水を活用してアスパラガスを新たに導入。また、育苗ハウスを活用し、雑穀類や冬期に葉物野菜を栽培し直売所で販売。

主食用米は自家製堆肥を用いて、減農薬減化学肥料による栽培を実践。

また、土壌診断に基づく肥料設計による独自の堆肥、土壌改良材の使用により品質の向上に取り組む。

③流通・販売の工夫

直接販売に必要な農産物検査資格を取得するとともに、長野県の水稲育成品種「風さやか」の研究グループを立ち上げ、安曇野市とともにブランド化に取り組む。また、自社直販サイトを作成し、消費者のニーズに対応した品種等の栽培・販売に取り組む。

法人の経営概要

代表取締役：細田直穂

設立年：平成15年

社員数：6人

販売額：80百万円

経営面積：63.4ha

主食用米21.1ha, もち米2.3ha, 酒米15.5ha, 飼料用米2.1ha, 大豆18.5ha, 小麦15.5ha, そば14.0ha, アスパラガス0.6ha



田植え



アスパラガス



事業概要

地区名：中信平二期地区

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：長野県松本市外2市2村

受益面積：8,847ha

工期：平成17年度～平成26年度

事業目的：用水改良

主要工事：頭首工1カ所、
用水路L=28.5km



長野県育成品種「風さやか」